



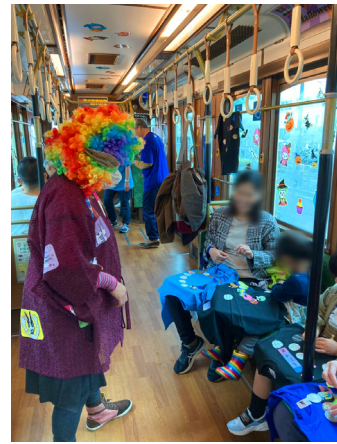
幼児におけるテキスタイル素材の効果と実践

キーワード

幼児教育, 幼児教育素材, 幼児教育テキスタイル, 幼児教育, 地域連携, 障害者教育

研究内容

テキスタイルとは繊維を使用したものをさします。絵画技法などを使用した、幼児対象のワークショップは多く見られますがテキスタイル素材を用いたワークショップはあまり多く見られません。これは素材の調達、指導の方法など専門の知識が必要になるのも一つの要因と考えられます。幼児教育において、右脳は五感や感覚や直感的のものに関係し、左脳は計算や言葉や論理に関係するものと言われています。手先を鍛えたり数をカウントしたりする能力も左脳の育成に繋がります。繊維は身近にあるものでありますが素材そのものに触れ、右脳左脳を使い、物の大切さを気づき、SDGsを考えるワークショップの実践を試んでおります。未来に繋ぐ幼児教育においても有意義な研究に繋がります。



都電荒川線 貸切ワークショップ
電車でGo 2023.10.15.

関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・令和4年度東京家政大学女性未来研究所 幼児におけるリモートワークショップの実践と可能性
- ・令和3年度第74回日本保育学会「幼児における羊毛教材の実践と可能性」ポスター発表
- ・令和4年度第75回日本保育学会「幼児における羊毛教材の実践と可能性 その2」ポスター発表
- ・令和5年度第76回日本保育学会「幼児期におけるテキスタイル教材の実践研究」口頭発表
- ・令和6年度第77回日本保育学会「テキスタイル教材による幼児教育の実践と研究発表」口頭発表



SDGs マルシェくるくるパーク「SDGs みんなでつながろう、ちくちくぬいぬいパッチ」板橋こども動物園 板橋区主催 2023.1.13～14

社会連携・産学連携の可能性

テキスタイル素材を使用したワークショップを幼児から大人そして年齢を重ねた方々、障害を持つ方など多様な方々への対応をし、社会との繋がる可能性があります。